

# (3) 利用促進策の検討状況について 支線バス利用促進の取組状況

資料 3

■ ポスター  
(北長瀬駅、妹尾駅、商業施設等)



■ ラッピングボード  
(岡山駅東口)



■ SNS  
(エックス、インスタ)



■ サイネージ  
(区役所・地域センター・岡山駅など)



■ 道路情報板 (市内28か所)



■ 時刻表 (沿線に約1.2万部ポスティング、駅・病院などに設置)





## ■ 動画でのPR①

配信中  
(78万回再生)



## ■ 動画でのPR②

制作中

- 岡山市と日本たばこ産業株式会社 (以下、JT) との地方創生に係る包括連携協定に基づき、JTが取り組む地域社会への貢献活動である「Rethink PROJECT」の協賛で、「支線バスFLAtの利用促進」を目的としたショート動画を制作中



## ■ 情報雑誌でのPR

タウン情報おかやま  
1月号

12/25  
発行

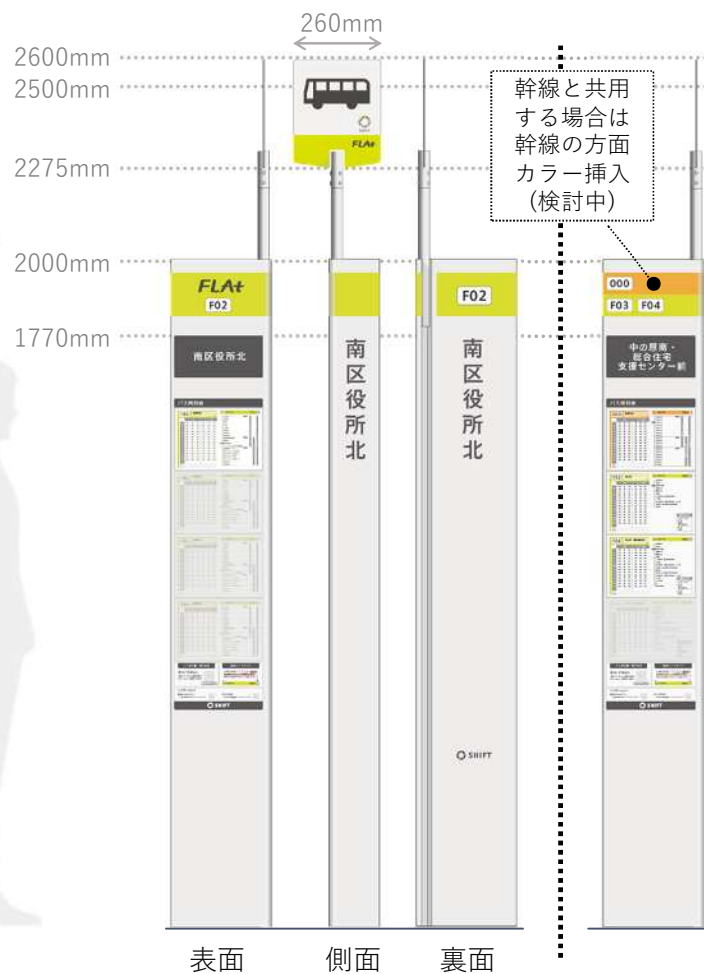


## ■ デザイン性・視認性の高いバス停サインの検討

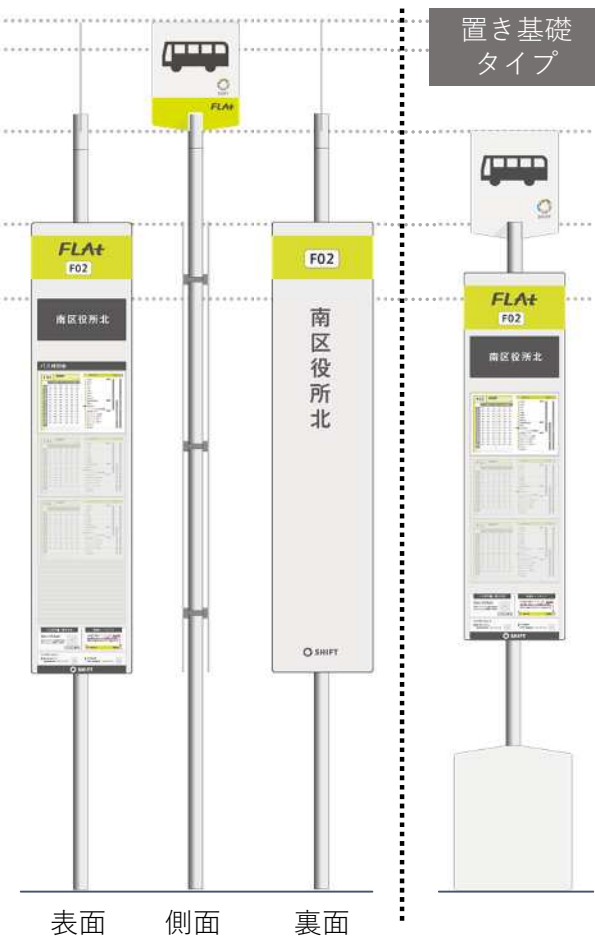
- 支線バスは、早期の運行開始を求める声があり、簡易な構造のバス停でスタートしたが、「バス停がわかりづらい」とのご意見もあり、現在、ピクトグラムの頭頂板を追加
- 現在、トータルデザインに基づく視認性の高いバス停の検討を進めており、デザインが決まり次第、設置可能な所から順次整備を予定



### 標準デザイン



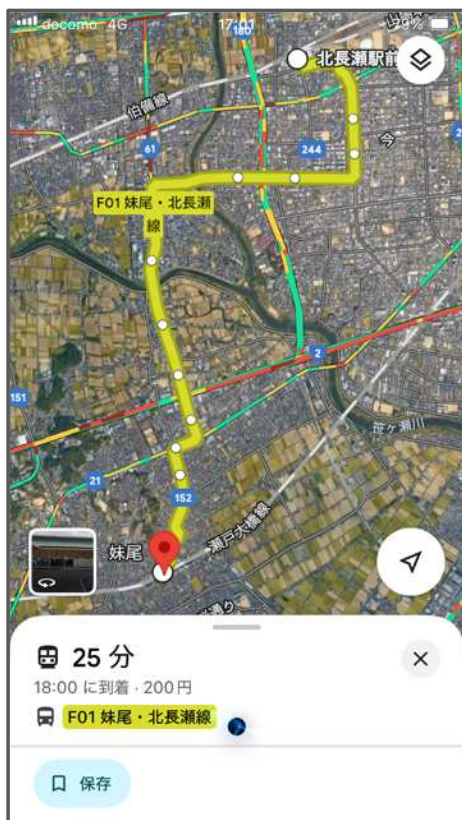
### 簡易デザイン(設置が難しい場合)





## ■ Googleマップでの運行情報の提供

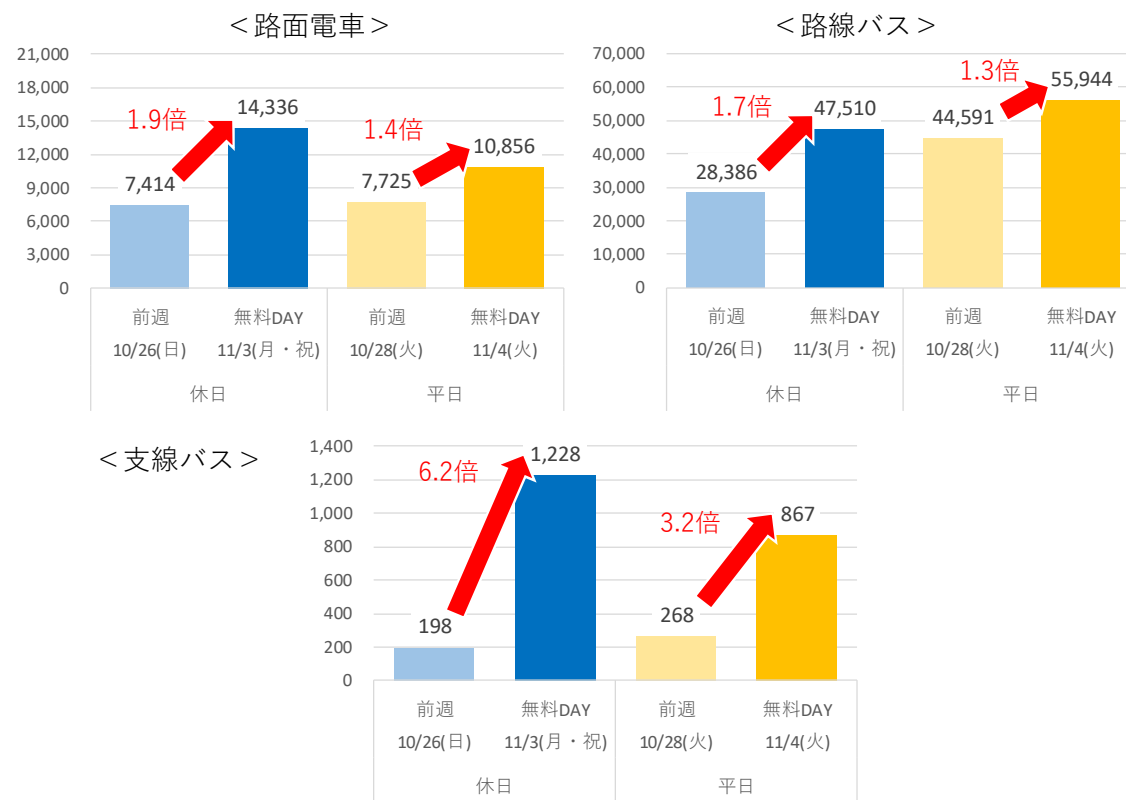
- 支線バスの運行ダイヤ・ルート・遅れ時間等をGoogleマップで公開  
※BusVision（バスビジョン）でも公開中（9/15～）



F01 妹尾・北長瀬線 妹尾駅			
	17:04	17:50	18:20
御南小前	3 分の遅延・16:56	16:58	
今保・ナガセヴィータ前	3 分の遅延・16:58	17:01	
古新田中・トレンド前	4 分の遅延・16:59	17:02	
福田公民館・地域センター	5 分の遅延・17:00	17:04	
古新田南	6 分の遅延・17:03	17:08	
荒田	7 分の遅延・17:05	17:12	
荒田南	6 分の遅延・17:07	17:12	
妹尾駅	6 分の遅延・17:10	17:15	

## ■ 運賃無料DAYの実施

- 11月3日（月祝）・4日（火）の2日間に、支線バスを含む市内全ての路線バス・路面電車を対象に、運賃無料DAYを実施
- 支線バスは、平日は3.2倍、休日は6.2倍に増加しており、大きな潜在需要を確認
- その他の路線バス及び路面電車についても、1.3～1.9倍に増加



# 事業者から提案された今後の利用促進策（10/23開催の路線バス分科会）

## ■ 路線バス分科会で事業者より提案のあった利用促進策

### 支線バス

- 1 お試し無料券による「バスに乗る習慣づくり」
- 2 鉄道・バス乗り継ぎ割引による「シームレスな利用環境の構築」
- 3 経済的インセンティブ（買い物券など）導入による「自動車利用からの転換」
- 4 公民館等で高齢者を対象にバス教室
- 5 沿線地域への時刻表ポスティングの定期実施
- 6 沿線企業の従業員等への啓発

### 公共交通全体

- 7 決済環境のICOCA等全国交通系ICカードへの統一と、定期券のWEB購入サービス導入による利便性向上
- 8 ゾーン運賃制及び金額式定期券の導入と中・長距離の負担軽減
- ⑨ OKAYAMAハレ活プロジェクトとの連携（バス乗車でポイント付与）
- ⑩ 1日乗車券と周辺部の駐車場料金負担で都心の回遊性向上
- ⑪ ももちゃりとの連携（バス含めた1日乗車券、バス定期利用者の割引等）
- ⑫ バスレーンの実効性確保、延長
- ⑬ パーク＆バスライド駐車場の増強
- ⑭ 各社のお客様センターの統合
- ⑮ 利用促進に関する小委員会を設置（月1回程度の定例会）

# 支線バスの利用促進策（案）

事業者からの提案

## 1 お試し乗車券による「バスに乗る習慣づくり」

- 支線バスは、バス路線のない地域に新設・延伸するため、自動車利用が中心の暮らしから、バスに乗る習慣を形成していくことが重要。
- まずは支線バスを「知ってもらう」「乗って体験してもらう」きっかけを提供し、習慣づくりに向けた取り組みとして、一定期間に複数回利用が可能となるお試し乗車券を配布し、定着に向けた利用促進を図る
- また、「転入者への公共交通に関する情報提供」として、現在、各区窓口にて市政概要等とセットで公共交通マップを配布しており、支線バスの時刻表及びお試し乗車券を追加で配布する

### ■ お試し乗車（イメージ）



### ■ 転入者への公共交通情報の提供

オリジナルポリ袋作成



①公共交通マップ



②支線バス時刻表



③お試し乗車券



# 支線バスの利用促進策（案）

事業者からの提案

## 2 乗り継ぎ割引による「シームレスな利用環境の構築」

- 公共交通全体の利用促進の観点から、バスだけでなく、複数のモードを組み合わせた利用を促進するため、鉄道と支線バスを組み合わせる利用する場合の支線バス運賃の割引（50%引き）を試験的に実施。

### 実施イメージ

#### <STEP 1>

支線バス降車時に「直前のJRの利用履歴証」を運転手に提示し、半額割引で運賃を支払う

#### <STEP 2>

事業者は割引の件数と額を記録し、市に請求  
※支線バス利用後のJR利用は「割引なし」

### ■ 対象は駅に接続する支線バス

F01：妹尾・北長瀬線  
F02：妹尾・岡南線  
F03：高島・旭川荘線  
F04：高島・備前原線  
F06：庭瀬循環線<R8.4～>  
F09：牛窓南回り線<R8.10～>

利用履歴証  
(駅発券機で出力)



モバイルICOCA



## 3 経済的インセンティブ導入による「自動車利用からの転換」

- 支線バス沿線の商業施設等を対象に、支線バスに乗って来店し、一定額以上買い物した利用者に買い物券を贈呈するなど、沿線の商業施設等と連携したインセンティブ導入による支線バスの利用促進。消費喚起や休日の駐車需要の緩和も図る。

### 実施イメージ

#### <STEP 1>

支線バス降車時に、希望者に「乗車証明書」を運転手が手渡し

#### <STEP 2>

利用者は、商業施設で「買い物レシート(一定額以上)」と「乗車証明書」を提示し、買い物券を取得



### <参考>イオンモール岡山の「乗リトクICクーポン」

- 土日・祝日を対象に、JR・バス・路面電車で来店し、イオンモール岡山で合計3,000円以上の買い物をした方に、先着100名で500円分のお買物券を贈呈

<STEP 1> ICカードで、JR・バス・路面電車に乗車

<STEP 2> イオンモール内の専用端末にICカードをタッチし、クーポンを発券

<STEP 3> 買い物レシートとクーポンを、500円分の買い物券と引き換え



# 支線バスの利用促進策（案）

事業者からの提案

## 4 高齢者を対象にバス教室

- 毎年実施中の小学生を対象にした「バスの乗り方教室」について、支線バス沿線の公民館等で高齢者を対象に実施。
- 高齢者の路線バス・路面電車の運賃が半額割引となる「ハレカハーフ」のPRや、バスロケーションシステム（GoogleマップやBusVision）の利用方法の解説などとあわせて実施。



（参考）  
小学校での  
バスの乗り方教室



## 5 時刻表ポスティングの定期実施

- 支線バスの運行開始やダイヤ改正等にあわせて、沿線地域に時刻表をポスティング
- また、お試し乗車券等の利用促進策のPRなどにあわせて、運行中の支線バス沿線に対しても、改めて時刻表をポスティング



## 6 沿線企業の従業員等への啓発

- 支線バス沿線の事業所の従業員等を対象に、環境や健康などに配慮した交通行動を呼びかけていく「モビリティマネジメント」を実施
- 支線バスの運行サービス等の情報提供や、支線バスを利用した通勤プランの提示など自発的な行動変容を促すコミュニケーション施策を実施（トラベルフィードバックプログラム）

- トラベルフィードバックプログラムのイメージ（支線バス沿線企業を対象に）





# 公共交通全体の利用促進策（案）



事業者からの提案

実施希望時期：R9.10～

## 7 決済環境のICOCA等全国交通系ICカードへの統一と 定期券のWEB購入サービスの導入による利便性向上




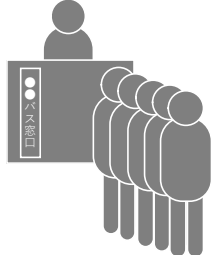

- 現在、ハレカが中心となっている路面電車・路線バス・支線バスの決済環境を全国各地で相互に利用可能なICOCA等全国交通系ICカードに変更することで、**鉄道・路面電車・路線バス・支線バスの決済環境を全国交通系ICカードに統一**する。
- これにより、**定期券のWEB購入が可能**となり、**利用者が窓口に出向く負担と、窓口や運転手の業務負担の軽減**を図る。

### ■ 現状の決済環境

		J R	路面電車	路線バス・支線バス			
				岡電 両備 下電	中鉄 宇野	八晃	備北 北部
ハレカ 	定期	×	●	●	●	×	×
	非定期	×	●	●	●	●	×
ICOCA等 全国交通系IC 	定期	●	×	×	×	×	×
	非定期	●	●	●	×	×	×



### ■ 目指す決済環境

- 01 全ての路線バス・支線バスで  
全国交通系ICカードが利用可能に
- 02 定期券2枚持ちの解消  
鉄道とバスを使って  
通勤・通学する場合  
＜JRの定期＞ + ＜バスの定期＞ → ＜JR・バスの定期＞  
 +  →   
※モバイルICOCAも可
- 03 窓口に行かなくても  
定期券が購入可能に  
 → 



# 公共交通全体の利用促進策（案）

事業者からの提案

実施希望時期：R9.10～

## 8 ゾーン運賃制・金額式定期券の導入と定期券価格の上限設定 による「高頻度・広範囲利用の促進」

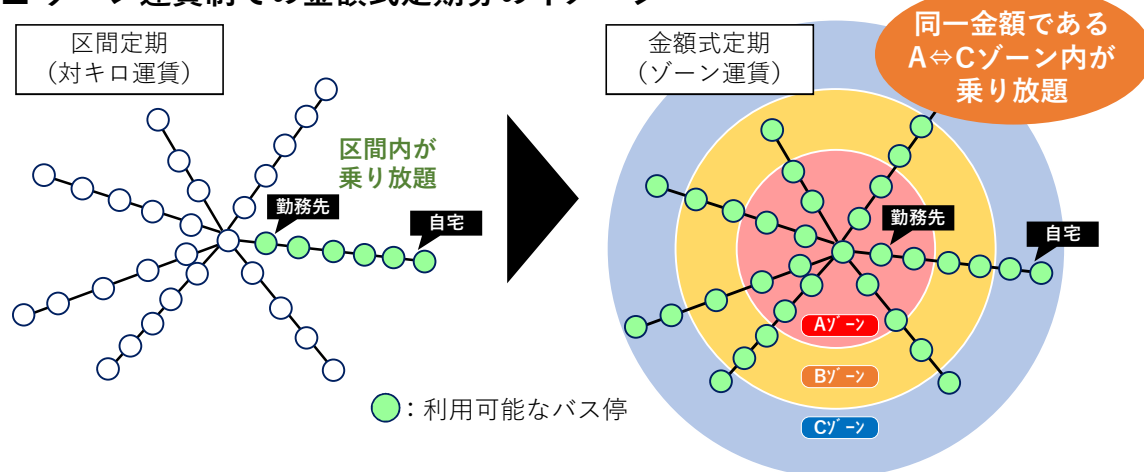
### <ゾーン運賃制・金額式定期券の導入>

- 通勤・通学だけでなく、買い物や通院など様々なシーンで高頻度・広範囲の利用を促進するため、新たな運賃体系として、**ゾーン運賃制を導入**するとともに、**定期券を区間式から「金額式」に変えることで、ゾーン内乗り放題**とする。

### <運賃設定と定期券価格の上限設定>

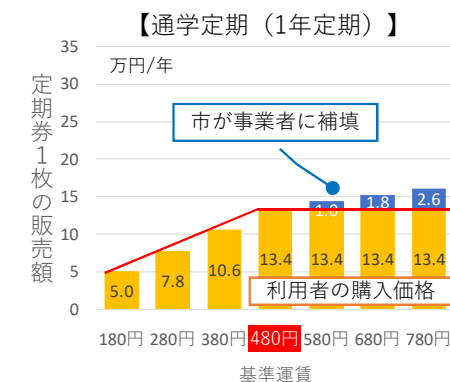
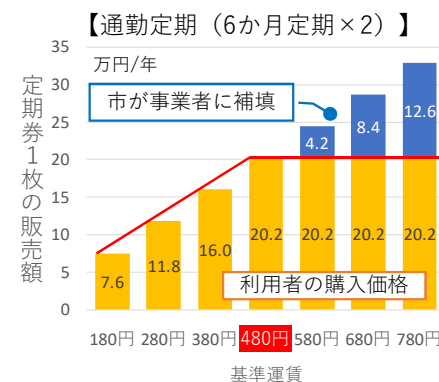
- ゾーン運賃制における運賃設定については、都心の運賃適正化で10月に160円に値上げしたが赤字の解消には至らない見込みであり、また運転手確保のための賃上げや老朽化した車両更新などの供給力強化に向けた投資が不可欠であるため、**運賃水準の引き上げが必要な状況**。
- 一方、**利用促進を図るためには、特に中・長距離の定期券価格に上限を設定**するなど、利用しやすい水準に下げ必要がある。
- このことから、**定期券の通常価格と上限価格の差額を行政が事業者に補填**することによって、事業者が必要とする収益の確保による経営の安定化とともに、利用しやすい定期券価格に抑制し、利用促進を図る。

### ■ ゾーン運賃制での金額式定期券のイメージ



### ■ 定期券価格の上限設定のイメージ

(基準運賃480円を上限に設定した場合のイメージ)



# <参考> ゾーン運賃制（イメージ）

## 事業者からの提案

実施希望時期：R9.10～

- <適用> ● 岡山市内全域（ただし、岡山市内での乗降のみに限る）  
● 路線バス（幹線・支線）及び路面電車

## <考え方（4つのポイント）>

### ① 初乗り運賃は「現金200円、ICカード180円」

- 路線の維持に向けて、運転手確保のための賃上げや車両更新などの供給力強化のための投資に必要な水準として、初乗り運賃は200円に
- アンケート結果より、200円への値上げは多くの利用者が抵抗を感じるため、ICカード利用時は20円割引くことで抵抗感を軽減

### ② 運賃加算は2ゾーン跨ぎ以降（100円ピッチ）

- ゾーン境界付近の短い移動が現在より割高にならないよう、2ゾーン跨ぎ以降に加算
- 加算は、分かりやすい・支払いやすい（おつりが少ない）100円ピッチで設定

### ③ 定期券を区間式から金額式へ移行（サブスク導入）

- 同一金額内のゾーンであれば、全ての路線を乗り放題とする金額式定期券を導入し、従来の区間定期より利便性を向上させる
- 事業者間の共通定期券とし、WEB購入の新サービス導入

### ④ 定期券価格に上限設定

- 中・長距離は上限運賃を設定し、利用しやすい水準を維持
- 高頻度・広範囲利用へ誘導するため、定期券についてのみ上限設定
- 定期券の通常価格と上限運賃の差額は行政が補填し、事業者の経営を安定化とともに、利用しやすい定期券価格に抑制し利用促進

## ■ 運賃設定

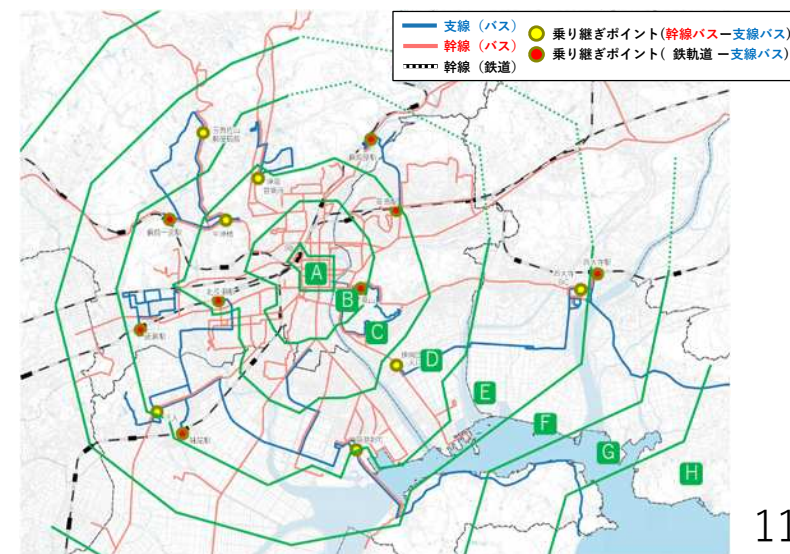
<上段> IC利用  
<下段> 現金利用

※路面電車はゾーンA・B  
(200円均一)

	A	B	C	D	E	F	G	H
A	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)	680 (700)	780 (800)
B	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)	680 (700)
C	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)	580 (600)
D	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)	480 (500)
E	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)	380 (400)
F	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)	280 (300)
G	680 (700)	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)	180 (200)
H	780 (800)	680 (700)	580 (600)	480 (500)	380 (400)	280 (300)	180 (200)	180 (200)

## ■ ゾーン境界

※事業者の提案（Eゾーンまで）を参考に、市全域に拡張





# < 参考 > 定期券販売額の上限設定（イメージ）

事業者からの提案

実施希望時期：R9.10～

## ■ 基本運賃

	A	B	C	D	E	F	G	H
A	180	180	280	380	480	580	680	780
B	180	180	180	280	380	480	580	680
C	280	180	180	180	280	380	480	580
D	380	280	180	180	180	280	380	480
E	480	380	280	180	180	180	280	380
F	580	480	380	280	180	180	180	280
G	680	580	480	380	280	180	180	180
H	780	680	580	480	380	280	180	180

定期券  
販売額

× 2回/日  
× 30日  
× 12か月  
× 0.585

## ■ 通勤定期券の販売額（1年分）

	A	B	C	D	E	F	G	H
A	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	244,300	286,420	328,540
B	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	244,300	286,420
C	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	244,300
D	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180
E	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060
F	244,300	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940
G	286,420	244,300	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820
H	328,540	286,420	244,300	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820

480円上限（例）

480円価格に上限設定

## ■ ゾーン境界



480円価格に  
上限設定

	A	B	C	D	E	F	G	H
A	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	202,180	202,180	202,180
B	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	202,180	202,180
C	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180	202,180
D	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060	202,180
E	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940	160,060
F	202,180	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820	117,940
G	202,180	202,180	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820	75,820
H	202,180	202,180	202,180	202,180	160,060	117,940	75,820	75,820